

# 北海道学び推進月間の取組

オホーツク教育局  
平成30年12月7日

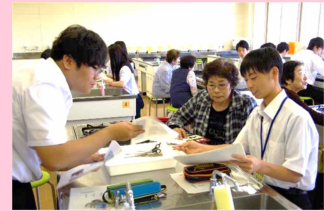
北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るための参考として御活用ください。

## ○ 北海道佐呂間高等学校の取組

### 佐呂間町寿大学との合同授業

本校では、平成28年度より町内に在住する高齢者が通う「佐呂間町寿大学」との合同授業を開催しています。本校生徒77名（1～3年生）と寿大学生110名が、8グループに分かれて理科「イカの解剖」などの合同授業に臨み、最後に全員で「ふるさと」を合唱をしました。交流により、高齢者から人生について学ぶよい機会となり、本校生徒からは「お年寄りから感謝の言葉を聞くことができうれしかった。」という声が多く寄せられました。今回の経験を生かして、コミュニケーション能力の向上及び一層意欲的に学習活動に取り組むことが期待されます。



【合同授業の様子】

## ○ 北海道秋の学び推進月間の取組

### 「意欲的に学習に取り組む生徒の育成」をテーマとした公開研究会の開催

紋別市立紋別中学校・潮見中学校・渚滑中学校では、平成29年度から「ほっかいどう学力向上推進事業『授業改善等支援事業』」の指定を受け、学力向上に向けた組織体制の整備により中学校における授業改善に取り組んでいます。

11月14日に実施した紋別市立紋別中学校の公開研究会では、3校で定期的に進めてきた教科部会での授業改善の取組の成果を発表しました。

その後の研究協議では、校内研究の視点に基づき活発な意見交流が行われました。

また、北海道教育大学旭川校 渥美伸彦准教授に「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の在り方等について助言していただき、参加者からは「学力向上に向けた授業改善の具体策について理解できた」等の多くの声が寄せられました。

今後は、課題や成果を踏まえた日常授業の改善に向けた取組を行うとともに、その成果を生徒対象のアンケート等により検証しながら取組の充実を図っていきます。



【研究協議の様子】

## 「北海道学び推進月間」標語

- ☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 北海道訓子府高等学校2年 安井大起さん  
「学びから 広がる未来の可能性」  
☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 北見市立緑小学校4年 北原 凰さん  
「学びから なりたい自分を みつけよう」  
北見市立南中学校1年 山下 優太さん  
「今やろう 自分の未来を つかむため」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございます。